

1. 高次脳機能障がい者に対する言語聴覚士の関わり

目次

1 言語聴覚士の視点から

2 研修会案内

3 編集後記

○言語聴覚士とは？

ことばによるコミュニケーションは、人間が社会で生活していく上で必要不可欠なものです。言語聴覚士は、ことばによるコミュニケーションの問題がある方に自分らしい生活を構築するよう支援する専門職です。

○高次脳機能障がい者のコミュニケーション評価と関わり方

高次脳機能障がいによって引き起こされるコミュニケーション障害は多様です。その評価は主に会話を通して行うことが多いです。言語聴覚士は、その評価を基に、どのように関わればコミュニケーションが成立しやすくなるかを考えていきます。

今回は言語聴覚士の視点から、高次脳機能障がい（注意障害、遂行機能障害等）によって引き起こされるコミュニケーション障害に対する評価項目と実際の関わり方について御紹介します。

<言語聴覚士が評価する項目と関わり方の例>

①アイコンタクトが成立するか

⇒アイコンタクトが成立しやすい方向から話しかけます。身体を触って関わり手に注意が向くようにするのも良いでしょう。

②場の雰囲気や相手に合わせた適切な言動ができるか

⇒なぜそのような行動をしたのかについて聴きながら振り返りどのように振る舞えばよかったか確認しましょう。

③話し手と聞き手の役割交代が行えるか

⇒話題が変わった時に、「今は〇〇のことについてですか？」など、質問をいれて間をあけることで切り替えができ、会話が成立しやすくなる場合があります。

今回ご紹介したものはほんの一部にすぎません。その方にあったコミュニケーション方法について時間をかけて検討することが大切です。



もうすぐ
別れの季節ですね…



2. 研修会案内

岩手県高次脳機能障がい 久慈圏域研修会・家族教室のお知らせ

<研修会>

日程：平成 29 年 3 月 11 日(土) 13:00～15:00

会場：久慈グランドホテル

内容：「高次脳機能障がいの基本的理解について」
～当事者と家族の支援～

講師：横浜総合リハビリテーションセンター
臨床心理士 野路井未穂氏



<家族教室>

(研修会終了後に行われます)

日程：平成 29 年 3 月 11 日(土) 15:00～17:00

会場：久慈グランドホテル

内容：①高次脳機能障がいの理解(DVD 上映)
②近況など、語り合い
③コーディネーターからの助言



※参加費無料

※申込み・お問合せ先：0194-52-8177

担当：元木澤

◆◇いわて再発見◇◆

休暇村岩手網張温泉 鹿追足湯



展望デッキになっている木道からは、盛岡の町並みが一望出来ます。早池峰山や北上高地の山々を眺めながら、ゆっくりと足湯を楽しめますよ～

3. 編集後記

年が明け、気付いたらあっという間に2月も終わり、別れの季節となりますね。立春も過ぎ、暦の上では春に向かっていく時期となりました。しかし、まだまだ寒い日は続きそうですね。「冷えは万病のもと」体を暖かくしてお過ごしください！

ご意見ご感想はこちらまで メールニュース担当(佐藤・渡辺・富山・佐々木)

アドレス koujinnou-shien-reha@irc.or.jp